

科 目 名	切断と脊損の理学療法【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	古 賀 一 敬・野 中 昭 彦・大 川 裕 行						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	理学療法において義肢、装具の装着、使用法について学んでもらい患者の訓練が円滑に進められるかを理解する。 採型法、装着法といった実技を取り入れ、義肢装具を身近なものとして興味を持ってもらう。 急性期から慢性期にいたる脊髄損傷者の合併症について学ぶ。そして、理学療法の観点から合併症の対処方法について学ぶ。脊髄損傷者の床上・移乗動作について理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	義肢装具に関する基本的な専門用語の意味を理解出来る。 理学療法での義肢、装具を使用することに関心や興味を持つ。 積極的に実技に取り組む。 脊髄損傷者の合併症を理解する。 理学療法の観点から脊髄損傷者の合併症管理を学ぶ。 脊髄損傷者の床上・移乗動作を体験し、損傷レベル別に理解する。						
学 習 方 法	講義、デモンストレーション、実技、動画						
テキスト及び参考書等	特に指定はしない（講義資料を準備する。すでに「運動療法学」、あるいは中枢神経障害の理学療法に関連した書籍があれば参考にする。）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎				60		
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			○		20		
受講者の発表							
授業への参加度			○		20		
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	装具について						
第 2 週	体幹装具について 採寸法・実技						
第 3 週	上肢装具について 採寸法・実技						
第 4 週	下肢装具について 採寸法・実技						
第 5 週	装具採型 実技						
第 6 週	義肢について						
第 7 週	義手の装着法について						
第 8 週	義足の装着法について						
第 9 週	ソフトドレッシング法について						
第 10 週	義肢装具のまとめ						
第 11 週	脊髄損傷者の疫学、麻痺の程度と範囲						
第 12 週	脊椎損傷に伴う様々な障害（合併症とその対策）						
第 13 週	脊椎損傷者の理学療法Ⅰ（理学療法評価）						
第 14 週	脊椎損傷者の理学療法Ⅱ（機能訓練とADL）						
第 15 週	脊髄損傷者のスポーツ						
第 16 週							
備 考							